

行政報告の主な内容（7課20項目）

(1) 総務課	定額給付金等の支給状況について
	衆議院議員総選挙等について
	土地開発公社の解散について
	自衛隊関係について
(2) 保健福祉課	特定健診・特定保健指導について
	新型インフルエンザ対策について
(3) 町民生活課	町税等の収納対策について
	個人住民税の年金特徴について
	町営住宅用火災警報器の設置状況について
	省エネルギービジョンの進捗状況について
(4) 産業振興課	農作物の育成状況について
	かみふらのビヤガーデンについて
	第5回花と炎の四季彩まつりについて
	上富良野町のPR事業について
(5) 建設水道課	市街地町道・水道管の改修について
(6) 町立病院	公立病院に対する要請行動について
(7) 教育振興課	新英語指導助手の着任について
	全道・全国大会出場について
	公立高等学校配置計画（案）について
(8) 総務課	建設工事の発注状況について

行政報告

(平成21年9月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第3回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る6月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課行政報告【総務班関係】)

はじめに、定額給付金についてであります。8月末日現在、支給対象の全5千388世帯の約99%にあたる5千321世帯が総額1億8千670万8千円の支給申請手続きを終えられ、残る67世帯が申請されていない状況となっております。

これまで未申請の世帯に対しましては、3月の申請書発送以降、防災行政無線放送や町広報誌を通じて申請を呼びかけてまいりましたほか、4月下旬、6月上旬、7月下旬に、それぞれの時期までに未申請の世帯に対して、はがきや封書で申請手続きを促してまいりました。

申請手続きは、受付開始から6か月目にあたる9月16日が期限となることから、8月下旬に未申請世帯に対して5度目の案内をした効果もあり、9月に入った2日間に13世帯が申請手続きされましたので、期限目前であります。1人でも多くの方が申請を終えられることを期待しております。

また、子育て応援特別手当については、既に6月17日に支給対象全世帯の175世帯へ、総額644万4千円の支給を完了しておりますので、併せてご報告申し上げます。

次に、第45回衆議院議員総選挙及び第21回最高裁判所裁判官国民審査については、7月21日に衆議院が解散され、8月18日に公示、8月30日に投開票が実施されたところであります。当町選挙管理委員会においては、投票事務と開票事務の適正な執行に努めました結果、当日有権者数9,786人、投票者数7,698人、投票率78.66%と、4年前の前回投票率の75.59%より約3%上昇する結果になりました。期日前投票は、投票者数3,189人、投票率32.59%と、期日前投票制度発足以来、当町の最高の投票者数、投票率を記録したところであります。

(総務課行政報告【企画財政班関係】)

次に、今後のあり方について協議を進めてきた上富良野町土地開発公社についてであります。去る8月17日開催の同公社理事会において、全会一致で解散の決定がなされたことから、今定例町議会に関係議案を上程しておりますので、ご審議賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、ご議決をいただきました後は、北海道知事の解散認可を受けて、清算人による清算手続きが進められる予定であります。

(総務課行政報告【基地調整関係】)

次に自衛隊関係であります。6月28日北海道補給処、7月4日旭川地方協力本部、8月9日千歳航空祭、8月30日第1特科団の記念行事に出席してまいりました。

駐屯地の現状規模堅持の取組みとして、7月10日、当町において、富良野地方の6市町村で構成する富良野地方自衛隊協力会が主催して「現場を知るからこそ見えてくるもの」と題し、佐藤 正久 参議院議員による防衛講演会を開催し、町内をはじめ580名の参加をいただきました。

関連して、6月23日と8月25日、東京において、陸上自衛隊の幹部の方々に要請をしてまいりました。

次に基地対策として、6月22、23日北海道基地協議会の要望運動に参加し、北海道防衛局並びに防衛省、総務省、財務省に対して防衛施設周辺整備事業に関する要望を行いました。

同23日には、上富良野町基地対策協議会の役員とともに防衛省において、当町の防衛施設周辺整備の事業要望を行ってまいりました。

また、7月24日、防衛施設周辺整備全国協議会と全国基地協議会総会に出席してまいりました。

(保健福祉課行政報告)

次に、特定健診・特定保健指導の実施についてであります。2千366人の受診対象者に対し、現時点は、男性58.4% 女性63.41% 合計61.7%の受診率となったところであり、現時点においてはほぼ前年並みとなったところであります。

受診された方々には、個々の健診結果を理解し、生活習慣改善への取り組みを図るために、830人を対象に個別相談の案内を行い、相談に来られなかった方には訪問指導等を実施したところであります。

次に、新型インフルエンザ対策についてであります。全国的に新型インフルエンザが流行期に入ったことから、蔓延防止を目的に、手洗い・うがいなどの感染予防法及び感染が疑われた際の受診療養法等を普及啓発するとともに、主な公共施設においては速乾性アルコール消毒薬を配置いたしました。今後も、国が実施しているサーベイランス(監視)への協力を図るとともに、万が一、学校や福祉施設などでの集団発生が起きた場合には、町の対応方針を定めた上で迅速な感染拡大予防に努めてまいります。

(町民生活課行政報告【税務班関係】)

次に、町税等の収納対策であります。平成21年度上半期の町税等の徴収状況については、4月から8月にかけて所得税還付金6件の差押えを執行し、18万6千円の換価収納をいたしました。

また、管理職全員による滞納プロジェクトを1回実施し、延べ127名の臨戸訪問徴収により町税等395万5千円を徴収いたしました。

さらに、国民健康保険税の滞納者43世帯83名に対しては、国民健康保険証の短期交付をして、納税勧奨したところであります。

次に、本年10月から始まります個人住民税の年金からの特別徴収につきましては、制度の趣旨等の周知が納税者に対して十分に図れるよう、昨年からの町広報誌において4回掲載するなど制度の周知を図ってきたところであります。また、本年6月の納税通知書発送の折には、対象者に対してリーフレット等を同封して、制度内容などの周知徹底に努めたところであります。

(町民生活課行政報告【生活環境班関係】)

次に、町営住宅用火災警報器の設置状況についてであります。町営住宅管理戸数428戸のうち、既に緊急通報システム及び火災警報器が設置されている81戸を除く347戸に設置するため、本年12月22日を工期として発注を完了したところであります。

このことにより、町営住宅入居者への火災等の安全・安心対策の充実が図れるものと考えております。

次に、上富良野町地域省エネルギービジョンの策定についてであります。独立行

政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構からの補助金交付を6月16日に受け、その後一般公募も含め10名の策定委員を決定し、7月23日に第1回策定委員会を開催したところであります。

(産業振興課行政報告【農業振興班関係】)

次に、農業関係であります。7月の長雨、低温、日照不足の影響により、農作物の作況状況は全体的に厳しい状況となっております。

収穫を終えた秋まき小麦については、平年並みの収量があったものの、発芽等による品質の低下が顕著であり、収入面で大きな打撃になると思われまます。

また水稲については、8月上旬の好天によって、生育の遅れをやや取り戻したものの、不稔障害が大きく品質・収量とも懸念されているところであります。

一部の農作物を除いて、本町の主要作物である馬鈴薯や甜菜を含む農作物全体の収量は、平年を下回る見込みとなっておりますが、今後とも各関係機関と連携し、生育状況について注視しながら、必要な対応を図ってまいります。

(産業振興課行政報告【商工観光班関係】)

次に、観光関係について、報告させていただきます。

昨年に引き続き、商工会、観光協会、農協、町で構成する「地産地消推進協議会」において、サッポロビール株式会社に醸造を依頼した上富良野産の大麦とホップを原材料とした「まるごと かみふらのプレミアム生ビール」による「まるごと かみふらのビヤガーデン」が、7月11日に開催されたところであります。

今年は銀座通りを車両全面通行止めにした特設会場で催され、商工会まちづくり委

員会、豚肉販売推進協議会等にご協力いただき、地元農畜産物を食材にした「ぶた串・ぶた耳のから揚げ・ぽーむす(豚肉のしぐれ煮をはさんだオニギリ)」なども販売され、地産地消の推進と住民間の交流が図られ、盛況のうちに終えたところであります。同時に飲食店組合の協賛企画で、各個店独自の特別サービスも見られ、今後においても、このような取り組みが町民に活気を与える事業に発展することを願うところであります。

次に、7月26日に開催しました「第6回‘2009花と炎の四季彩まつり」についてであります。当日、一時的な降雨にみまわれましたが、運営委員会をはじめ、関係の方々のご尽力によりまして、町内外より約1万人の来園者をお迎えし、ステージショー・行灯行列・花火等の行事を予定通り実施して、無事終えることが出来ました。

また、昨年度までの臨時駐車場がないことから、本格的なラベンダー観光シーズンとなる7月11日から26日までの16日間、日の出公園の臨時駐車場として東町の旧自衛隊官舎跡地を借用し、整地などの整備を行った上300台の駐車スペースを確保し、加えてオートキャンプ場内の南側に仮設歩行通路を設けるとともに、日の出公園までシャトルバスを運行するなど対応を図ったところであります。

次に、8月6日のサッポロビール(株)によります「ふるさと北海道応援企画」における本町のPR活動についてであります。サッポロビールが札幌大通公園で開設しているビヤガーデンにおいて、「食」や「観光」を通して、北海道各地域の素晴らしさを発信し、その地域の振興を図ろうとする取り組みであります。今年で3回目の参加で、8月6日に上富良野町をPRしてきたところであります。

会場の大通公園8丁目は、当日3千5百人以上の入場者で賑わった状況にあり、そのような中で上富良野町のPRも含め安政太鼓の演奏で場内を盛り上げていただきました。

当日は、ふらの農協上富良野支所、かみふらの十勝岳観光協会、上富良野町商工会、かみふらの十勝岳旅館協会、ホップ生産組合、サッポロビールホップ会、豚肉販売推進協議会、安政太鼓保存会、札幌かみふらの会など、多くの方々のご支援ご協力をいただいで活動を行ってまいりました。

(建設水道課行政報告)

次に、市街地町道、水道管の改修についてであります。平成20年度国の第2次補正予算に基づく生活対策臨時交付金等を財源として、本年4月から施工してきた市街地町道の簡易舗装と水道管布設替え15路線については、9月末を工期としてその大半が完了していますが、新たに8月中旬に今年度の地域活性化・経済危機対策臨時交付金を財源として、11月末までの工期で、更に16路線について追加発注したところでもあります。

春先から初冬まで、市街地各所で断続的な道路工事が行われることから、関係住民に対しまして工事説明会を実施するなど、ご理解、ご協力が得られるよう意を尽くしておりますが、議員各位におかれましても、円滑な工事促進へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(町立病院行政報告)

次に、公立病院に対する国の財政措置の充実に関する要請行動についてですが、ご承知のとおり、新制度の中では、道内で当町を含む4町で現状から大幅な減額が示されたことから、この間も地域医療の崩壊に繋がるものとして、北海道と北海道町村会を通じて国に財政措置の充実を求めてきたところでもあります。

特に7月28日には、北海道、北海道町村会及び北海道自治体病院開設者協議会の三

者合同による統一行動として、対象外となる当町をはじめ、美幌町、新ひだか町、森町の4人の首長が直接要請行動に加わり、総務省をはじめとする関係部署及び道内選出の全ての参議院議員に対し、「公立病院に係る財政措置の充実に関する要望書」を提出し、公立病院の経営改善と財政基盤の強化が図られるよう激変緩和などの財政措置を求めたところであり、今後におきましても、国の動向を十分見極めながら北海道はもとより、関係自治体などと連携して対処して参りたいと考えております。

(教育振興課行政報告)

次に、新しい英語指導助手の着任についてであります。昨年8月から本町の英語指導助手として英語教育の振興に貢献されましたニコール氏の後任として、同じくカナダ国アルバータ州カムローズ市からグレン・オグデン氏を迎え、8月1日から正式に活躍していただいているところであります。彼は、いろいろなスポーツに親しむなど、明るく活発な方で、音楽やアウトドア活動に積極的に取り組む行動力の旺盛な青年であります。

上富良野町の子供たちには、自らの経験を活かし、国際理解と英語指導に当たっていただくとともに、本人が日本の文化や自然を学びたいという意欲を持っていることから、今後の活躍を期待しているところであります。

次に、これまでににおける学校部活動等の活躍について報告をさせていただきます。

上富良野中学校陸上部は、14名が帯広市での全道大会へ出場するなど、中体連の各競技において優秀な成績を収めております。

また、上富良野中学校吹奏楽部が昨年度に引き続き北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選において金賞を獲得し、9月6日の全道大会に出場し、昨年度に引き続き金賞を獲得するとともに東日本学校吹奏楽大会への3年連続の代表権も獲得しております。

次に、上富良野高校に係る事項について報告させていただきます。

7月13日に平成22年度から平成24年度における公立高等学校配置計画案が北海道教育委員会から示されたところであります。

その内容は、平成23年度に富良野高校が5間口から4間口へと、1間口の減となり、上富良野高校については現状維持となっております。

しかしながら存続については依然として厳しい状況にあることには変わりなく、今後においても上富良野高校の存続を継続して行くため、更に努力してまいり所存であります。

（総務課行政報告【企画財政班関係】）

最後に建設工事の発注状況についてであります。6月定例町議会で報告以降に入札執行した建設工事は、8月27日現在、件数で33件、事業費総額で3億4千399万500円で、本年度累計では、40件、事業費総額6億827万5千500円となっております。

詳細につきましては、お手元に「平成21年度建設工事発注状況」を配付しておりますので、ご高覧いただきたく存じます。

また、経済危機対策への対応に向けて、去る7月28日開催の町議会臨時会において予算化いただいた、経済危機対策臨時交付金を活用して実施する14事業につきましては、31件に分割して発注することとしたところであり、地域経済の活性化という趣旨に沿って、昨日（9月14日）までに入札執行を終えた24件は、全て町内業者に受注いただきました。また残り7件につきましても、学校図書検索システムのソフトのバージョンアップ以外は、町内業者への発注を予定しているところであります。